

# J A 北魚沼

## これまでの実践内容と成果

### 1. 農業者の所得増大と農業生産の拡大に向けた取り組み

3年後の成果目標

単位：億円

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
販売品取扱高	50.33	46.70	50.67	51.79
米販売品取扱高	22.82	19.97	24.94	23.99
花き販売品取扱高	13.73	13.02	12.19	13.96
園芸特産販売品取扱高	8.97	8.39	8.56	9.01
畜産取扱高	4.80	5.30	4.97	4.82

※平成 30 年度は自己改革工程表策定時の目標値、他は各年度の実績値です。

#### ○ 地域農業の持続性確保

J A 北魚沼地域農業戦略の実践として、地域農業戦略品目推進プロジェクトを開催しアンジェレ作付等の検討を重ねました。(H29 年度目標 4 回⇒実績 4 回)

担い手経営体の確保育成と多様な担い手への支援として、W e b 農業簿記システム利用促進を進めました。利用者数 (H29 年度目標 55 名⇒実績 58 名 ↑)

新規担い手経営体を 5 経営体確保し、魚沼市人・農地プランの担い手は、349 名に増加しました。新規経営体数 (H29 年度目標 3 経営体⇒実績 5 経営体 ↑)

出向く営農体制の強化のために、各部門と T A C 連携会議を開催しました。開催数 (H29 年度目標 5 回⇒実績 4 回)

#### ○ 安全・安心な「売れる米づくり」に向けた生産体制の強化

安定した高品質・良食味米生産に向けた指導体制の強化とその実践として、農業学習塾の開催と教育の場での J A 営農活動を行いました。

農業塾の開催回数 (H29 年度目標 5 回⇒実績 3 回)

あぜ道研修会の開催 (H29 年度目標 25 回⇒実績 25 回)

北魚沼ブランド米の安全性と信頼性の強化のために、G A P の活用と普及推進を行うとともに、残留農薬・カドミウム・D N A や放射線等検査と指導を行いました。

認証件数 (H29 年度目標 27 件⇒実績 19 件)

検査点数 (H29 年度目標 15 点以上⇒実績 15 点)

検査結果は、すべて問題ありませんでした。


#### ○ 北魚沼の強みを最大限生かした販売戦略とブランド構築

取引業者及び行政等との連携強化による P R に取り組み、イベントへの積極的な参加や雪室貯蔵米の差別化販売を行いました。

イベント参加数 (H29 年度目標 10 回⇒実績 18 回 ↑)

雪室貯蔵米新規契約者 (H29 年度目標 10 人⇒実績 52 人 ↑)


売れる商品開発に取り組み、ふるさと納税返礼品の取扱拡大に努めました。

ふるさと納税返礼品（H29年度目標 1,200 件⇒実績 10,547 件 ）


全農及び全農パールライスとの連携販売を行い、スーパー・量販店への販売拡大に取り組みました。 連携販売店舗数（H29年度目標 3 店舗⇒実績 1 店舗）

### ○ J A地域農業戦略品目の生産拡大


農業戦略品目を中心に指導会・研修会の開催を重ね、生産者育成に取り組みました。

時期別研修会・検討会（H29年度目標 25 回⇒実績 51 回 ）

部会員の協力のもと、面積拡大に取り組みました。（以下は一部抜粋です。）

カリフラワー H28 年度 264a ⇒ H29 年度 285a（新規 4 戸 38a ）

深雪なす H28 年度 136a ⇒ H29 年度 161a（新規 1 戸 04a ）

ふきのとう H28 年度 450a ⇒ H29 年度 473a（新規 4 戸 16a ）

地域農業戦略支援実績

戦略作物 54 名 873,212 円 花き類 12 名 407,724 円

### ○ 菌茸の所得確保

魚沼きのこGAPの取り組みでは、毎月の資料提出率 100%に取り組みました。

資料提出率（H29年度目標 100%⇒実績 100%）

品質安定に向け、品質抽出検査率の拡大に取り組みました。


品質抽出検査（H29年度目標月 2 回⇒実績月 1 回）

### ○ 花き経営・生産・販売強化による百年産地の基盤づくり

生産販売システムの構築によるセリ前販売率の向上に取り組みました。

上位 3 社セリ前販売率（H29年度目標 55%⇒実績 50%）

生産拡大品目の産地化確立に向け、市場懇談会を開催しました。

市場懇談会回数（H29年度目標 2 回⇒実績 3 回 ）

### ○ 安全・安心な畜産物の生産と持続可能な畜産経営の実現

畜産生産性向上のために、飼料用米の計画利用に取り組みました。


利用量（H29年度目標 390 トン⇒実績 374 トン）


経営健全化に向けた酪農経営診断に取り組みました。

経営診断件数（H29年度目標 3 件⇒実績 1 件）

### ○ 地域農業をトータルサポートする営農センターの構築


生産コスト削減に向け、予約品引取りメリットをPRし、TACを中心に推進しました。

自己取り予約取引（H29年度計画 60 件⇒実績 169 件 ）

直送取引（H29年度計画 85 件⇒実績 90 件 ）

## ○ 農産物直売所を核とした地域農業の活性

年金プラスαでの所得確保のため、定年後の起農や新規利用加入を呼びかけました。

新規利用者数（H29年度目標5名⇒実績24名 ）

新規品目の研修会を開催し、取扱品目の増加に取り組みました。

研修回数（H29年度目標4回⇒実績4回）

先進地直売所への視察研修として、群馬県内の3直売所への視察研修を利用組合員27名の参加で実施しました。

## 2. 地域の活性化に向けた取り組み

### ○ 次代をつなぐ食・農・健康・いやしの活動


食と農のつながりを実感するJA食農活動の展開として、あぐり〜んキッズクラブの開催を「魚沼市」との共催により5回シリーズで開催しました。

次代を担う組織活動の支援では、農家、地域住民の独身男女の出会いの場づくりとしてCMCパーティーを開催しました。

開催回数（H29年度目標2回⇒実績2回）

青年部・女性部への加入を推進しました。


青年部新規部員数（H29年度目標5名⇒実績2名）

女性部新規部員数（H29年度目標20名⇒実績21名 ）

健康寿命100歳プロジェクトでは、健康管理活動支援として人間ドック受診支援を行いました。人間ドック受診支援（H29年度目標200名⇒実績179名）

### ○ いやしの旅行、生きがい提案活動

元気シニア層生きがいづくりでは、健康生きがい教室として湯治保養を開催しました。

参加者数（H29年度目標50名⇒実績64名 ）

### ○ 環境変化に対応できる経営基盤づくり

組合員・利用者意見を事業に反映するために、組合員アンケートを実施し、分析結果を基に職員を対象に報告会を実施しました。

管理職対象：8月30日、全職員対象：11月21日

地域密着型組織づくりのために、支店等協同活動を実施しました。

広瀬支店では広瀬感謝祭、入広瀬支店では入広瀬農業感謝祭

守門支店では須原スキー場貸切イベント、湯之谷支店ではマレットゴルフ

小出町・川口・堀之内支店では夏・秋祭参加、川口支店では雪洞火ぼたる祭参加

蕨神支店では錦鯉即売会時に感謝祭を開催するなど、いろいろな場面での協同活動に取り組みました。

コンプライアンス意識の強化を図るために、職員のコンプライアンス研修会を実施しました。

5月23日、11月21日

## ○ 人材育成基本計画

組合員・利用者の方々に親しまれ、必要とされる人材育成のために、人材育成基本計画を策定し、資格取得推進を含めた人材育成を図っています。

## 自己改革完遂に向けた取り組み

- 「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、正・准組合員を対象とした総合事業の展開により成果を確かなものとします。
- 組合員の世代交代への対応を徹底するとともに、組合員のJA運営への参加意識の高揚をはかり、組織基盤の強化に取り組みます。
- 組合員との徹底した対話と目に見える自己改革を着実に進め、全組合員の評価・理解を得ることでJAグループの将来展望を切り拓きます。
- このため、JA北魚沼は、全役職員間で情勢および危機感を共有するとともに、自己改革の評価の獲得と積極的な情報発信を強化します。